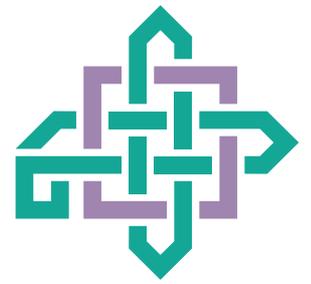


連携の絆を深め、輝く明日へ



ニュースレポート  
**中央会**

NEWS REPORT CHUOKAI

No. 825

2024

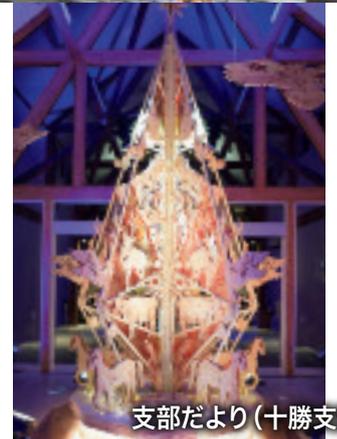
**12**



第76回中小企業団体全国大会開催



がんばる組合事例紹介



支部だより(十勝支部)

北海道中小企業団体中央会

## Contents

- 01 受章おめでとうございます 秋の叙勲・褒章
- 02 第76回中小企業団体全国大会開催
- 03 令和6年度中小企業団体全道大会決議に基づく要望活動を実施/  
中央会からのお知らせ
- 04 札幌市資源リサイクル事業協同組合創立30周年記念祝賀会を開催/  
ビジネス EXPO「第38回 北海道 技術・ビジネス交流会」開催
- 05 令和6年度第2回青年部講習会及び交流懇談会を開催/  
北海道中小企業青年中央会 会員募集中!
- 06 令和6年度 北海道の労働事情【要約版】①
- 09 がんばる組合事例紹介 「市場のパン屋」で課題解決に挑む～釧路和商協同組合
- 10 税理士が3分解説!  
知っ得! 経理業務を効率化! 人手不足の時代に役立つ経理の自動化  
～小島史資事務所 税理士・公認会計士 小島 史資 氏～
- 11 北海道経済産業局からのお知らせ
- 12 10月の道内景況
- 14 支部だより
- 16 中小企業大学校旭川校からのお知らせ
- 17 中小企業基盤整備機構からのお知らせ

# 第28回 全国菓子大博覧会・北海道

あさひかわ  
菓子博 2025

SMILE SWEETS HOKKAIDO

## 第28回全国菓子大博覧会・北海道とは

1911年に東京で行われた「帝国菓子飴大品評会」に始まり、お菓子の祭典として約4年に1度、全国各地で開催をしてきた全国菓子大博覧会。北海道旭川市を舞台に、あさひかわ菓子博2025を開催いたします。

2025.5.30<sup>土</sup> - 6.15<sup>日</sup>



あさひかわ菓子博  
公式キャラクター  
シマエ大福

©菓博北 2025

in道北アークス大雪アリーナ(旭川大雪アリーナ)

入場券好評発売中 <前売期間>2024年4月27日(土)~2025年5月29日(木)

大人  
普通入場券

前売  
価格 ¥1,200 (消費税込)  
当日価格 ¥1,500 (消費税込)

中学・高校生  
普通入場券

前売  
価格 ¥1,000 (消費税込)  
当日価格 ¥1,200 (消費税込)

小学生  
普通入場券

前売  
価格 ¥600 (消費税込)  
当日価格 ¥800 (消費税込)

前売券をご提示で、最大10%  
OFFのお得な特典付!

前売入場券 前売券をご購入いただいた方は、北海道内の店舗・施設にてお得なサービスが  
購入者特典 受けられます。詳しくは、ホームページより対象店舗・施設をご確認下さい。▶

●前売券を提示すれば、何度でもサービスを受けられる! ●対象の菓子店はお会計の3%割引に! ●お会計の10%割引になるラーメン店も!



# 受章おめでとうございます

## 秋の叙勲・褒章

～本会関係者4名が栄誉に輝く～

業界や地域における長年の優れたご功績によって、令和6年秋の叙勲・褒章を受章された本会関係者をご紹介します。栄えある受章を心からお祝いし、今後ますますのご隆盛をお祈りします。



旭日小綬章

山本 連治郎 氏

根室商業協同組合 顧問理事



旭日双光章

藤枝 靖規 氏

札幌鉄工団地協同組合 理事長  
本会 副会長



瑞宝双光章

五十嵐 一彦 氏

斜里ポテト協同組合 理事長



黄綬褒章

松橋 謙一 氏

引越専門協同組合北海道 理事長

# 第76回中小企業団体全国大会開催

つながる ひろげる 連携の架け橋 ～幸せ紡ぎ 新しい未来へ～



10月24日(木)、第76回中小企業団体全国大会が福井県福井市において、全国から約2,000名の関係者が参加し開催されました。開会にあたり主催者の森洋全国中央会会長と開催地の稲山幹夫福井県中央会会長からそれぞれ挨拶があり、中村保博福井県副知事と西行茂福井市長から歓迎挨拶が行われました。その後、武藤容治経済産業大臣と福岡資麿厚生労働大臣のビデオメッセージ、関根正裕商工中金代表取締役社長ほかご来賓の方々から祝辞がありました。

大会は、稲山福井県中央会会長を議長、野村泰弘大阪府中央会会長及び伊藤學人広島県中央会会長を副議長に議事が進められ、櫻井一郎熊本県中央会会長から「極めて厳しい経営状況に直面する全国約3万の中小企業組合等から寄せられた切実かつ重要な要望」について意見発表が行われ、中小企業・小規模事業者等の環境変化対応・成長促進支援、労働・雇用・社会保険料対策、環境整備についての3分類14項目を決議しました。その後、若山健太郎福井県中小企業団体青年中央会会長が「大会宣言」を行

い、満場の賛同を得て採択されました。

引き続き、優良組合43組合、組合功労者72名、中央会優秀事務局専従者25名の表彰式が行われ、本会からは優良組合として江別工業団地協同組合、千歳市環境整備事業協同組合、北海道製紙原料直納商業組合、石狩新港運送事業協同組合の4組合、中央会優秀事務局専従者として若狭翔太胆振支部事務所長が表彰されました。最後に、次期開催地を広島県とすることが発表され、大会旗が伊藤広島県中央会会長へ引き継がれ閉会しました。

大会にあわせて企画した本会オリジナルツアーには、23名が参加され、柱状節理が約1kmにわたって連なる絶景の「東尋坊」や北陸唯一の現存十二天守である「丸岡城」、曹洞宗の大本山「永平寺」などを見学。「福井県立恐竜博物館」では、50体もの恐竜全身骨格や大型復元ジオラマなどから太古に思いを馳せるなど、福井県を中心に北陸の名所を周り、交流と親睦を深めました。



受賞された荻津理事長(左)と杉野理事長(右)



# 令和6年度中小企業団体全道大会決議に基づく 要望活動を実施

前月に引き続き「令和6年度中小企業全道大会」で決議した要望事項の実現を図るため、中小企業・小規模事業者の持続的発展に向け、実情に即した事業環境の整備や各種支援策が継続的に講じられるよう、11月22日(金)に高橋会長、馬込事務局長などの役職員が次のとおり関係機関への要望活動を実施しましたのでお知らせします。

## 自民党札幌市連政策要望懇談会への要望

自由民主党札幌市支部連合会が開催した「政策要望懇談会」に出席し、三上洋右会長を始めとする、札幌市議会議員に要望書を手交しました。



## 札幌市への要望

坂井智則経済観光局長に要望書を手交しました。



## 中央会からのお知らせです

### 令和6年度冬季下期賞与調査ご協力をお願い

#### ○秘密の厳守

調査票にご入力いただいた事項については、企業と個人の情報の秘密を厳守し、統計以外の目的に用いることはいたしませんので、ありのままをご回答ください。

また、入力担当者名などの個人情報については、本調査に係る問合せ以外には使用いたしません。  
所属会員企業への周知・依頼についてご協力お願いいたします。

#### ○回答方法

URL (<https://forms.office.com/r/20eT3nzhna>) 又は右記 QR コードより  
回答フォームにアクセスし、ご回答ください

支給しない場合でも「ない」でご回答をお願いします。

#### ○回答期限

**2025年1月30日(木)まで**にご回答願います。

フォームのご回答に当たり、不明な点など、調査に関するお問合わせは企画情報部まで

(電話 011-231-1919 FAX 011-271-1109)



# 札幌市資源リサイクル事業協同組合 創立 30 周年記念祝賀会を開催

10月11日(金)、札幌市資源リサイクル事業協同組合(小山内公一理事長、組合員 28 名)の創立 30 周年記念祝賀会と記念トークセッションが、札幌ガーデンパレスにおいて 44 名出席のもと開催されました。

記念トークセッションには、王子エコマテリアル株式会社のもろずみれいすけ 諸隈令介取締役、札幌市製紙原料事業協同組合の東原正憲理事長、札幌市資源リサイクル事業協同組合の小山内理事長がパネラーとして登壇し、「循環型社会に向けた資源リサイクルの未来を語る」と題して、資源リサイクルの今後について意見交換や議論が交わされました。

その後の祝賀会では、小山内理事長が挨拶で、「近年、SDGs という言葉が広く社会に根付いてきた。私たちはこの SDGs の先駆者として、これからの循環型社会を牽引していく存在になるべく努力を重ねていかなければならない」と今後に向けた決意を述べました。

祝宴では、日本再生資源事業協同組合連合会の飯田俊夫会長の来賓挨拶の後、北海道製紙原料直納商業組合の長谷川裕一理事長の乾杯の発声で開宴し、ビンゴ大会なども行われるなど、盛会の内に閉会しました。



## ビジネス EXPO 「第 38 回 北海道 技術・ビジネス交流会」開催

11月7日(木)～8日(金)の2日間にわたり、道内最大級のビジネスイベントである、ビジネス EXPO「第 38 回 北海道 技術・ビジネス交流会」が、アクセスサッポロで開催されました。

第 38 回目となる今回は「“創造的破壊”を北海道から～GX / DX / SX で革新的イノベーションを～」をテーマにアクセスサッポロの屋内・屋外広場をフル活用し、およそ 300 の企業・団体が出展。各ブースには、食品加工・IT 関連・物流・宇宙開発等、テーマの「革新的」な次世代を見据えた「イノベーション」を意識した技術、製品が展示され、出展者の熱を帯びた PR に呼応するように、多くの来場者が商談・見学を行っていました。その中でもひととき注目を集めていたのが「北海道半導体産業」ブース。

千歳市に生産拠点を立地予定の「Rapidus 株式会社」を含めた半導体産業に関わる企業が共同ブースで出展、多くの報道各社も集まっていたことから、道内の半導体産業への注目度の高さがうかがえました。

また、最新の機器を体験できるブースでは、ロボットを使用した飲食サービスや定型的な事務作業を自動で行う RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)ツールの実演等もあり、先端技術を活用した省力化、省人化に取り組むきっかけとなる展示となっていました。



鈴木北海道知事、秋元札幌市長も会場を視察していました



## 令和6年度第2回青年部講習会及び交流懇談会を開催

10月18日(金)、北海道中小企業青年中央会(岡田和也会長・会員50青年部)の第2回講習会及び交流懇談会が、旭川市で開催されました。

はじめに、旭川家具工業協同組合の旭川デザインセンターにて、同組合の杉本啓維専務理事より、旭川家具の歴史と組合が行っている活動(IFDA、この木の家具・北海道プロジェクト等)について説明いただいた後、旭川デザインセンターに展示されている旭川家具を視察しました。

続いて、同組合の組合員である株式会社カンディハウスに向かい、国際事業本部の糸島俊吾本部長より、同社の概要及び今後の展望についてご講演いただいた後、同社の工場内で家具が製造されるまでの工程を視察し、それぞれの持ち場で行っている作業の説明を受けながら、洗練された家具を製造する技術力を見学することができました。

最後に、旭川市内で行われた交流懇談会では、青年部の事業内容や会員への情報発信等について活発な議論が行われ、盛会のうちに終了しました。



## 北海道中小企業青年中央会 会員募集中！

北海道中小企業青年中央会では、リアルタイムなテーマで開催される研修事業や業種を超えた人脈が広がる交流事業など各種事業を通じて、「次代を担う若手経営者と業界をけん引するリーダー」の育成を目指しています。

- 事業内容
- ・講習会、研修会の開催(年3回)
  - ・青年部研修会事業(組合青年部が行う研修会の開催費用の一部助成)
  - ・交流促進事業(ボウリング大会など)
  - ・全国および東北・北海道ブロック交流

青年中央会では、様々な取組を行い、事業活動を通じた組合青年部の活性化を応援していきたいと考えていますので、是非、新規加入をご検討の組合青年部のみなさまにつきましては、事務局までお問合せください。

### 【問い合わせ先】

北海道中小企業青年中央会事務局  
(北海道中小企業団体中央会内)担当：齊藤  
札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7  
電話：011-231-1919 FAX：011-271-1109



東北・北海道ブロック交流会の様子

## 調査のあらまし

中小企業団体中央会では、昭和39年度から、毎年、全国統一様式により「中小企業労働事情実態調査」を実施しています。今年度も令和6年7月1日を調査時点(令和6年3月末実績)として道内の従業員数300人以下の1,500事業所を対象にアンケート調査を実施しました。

調査内容は、例年の従業員構成、労働組合の有無、経営状況、有給休暇付与・取得日数、新規卒者の採用状況、賃金改定状況、原材料高騰に対する価格転嫁、中途採用の状況に関する項目等のほか、今年より人材の確保、育成、定着についての項目を追加しています。

有効回答事業所数は740事業所(有効回答率49.3%)で、このうち従業員数30人未満の事業所は70.4%でした。

この調査の結果の要点を今月号から2回にわたって掲載します。(報告書は、本会ホームページに掲載予定)

## 1 経営

### (1) 1年前と比べた経営状況

1年前と比べた経営状況は〈図1〉のとおり。

全業種で見ると、「良い」が19.3%で、「悪い」が25.9%であった。また、「良い」と回答した事業所は、製造業が19.2%、非製造業が19.3%であった。

業種別で「良い」と回答した事業所を比較すると〈図2〉のとおり。

製造業で最も多かったのは、「化学工業」で33.3%、次いで「食料品」が30.3%、「鉄鋼・金属製品」が30.0%となった。また非製造業では、「情報通信業」が40.0%、次いで「卸売業」が25.5%、「職別工事業」が22.1%であった。

全国と比較すると〈図3〉のとおり。

「良い」と回答した事業所は、北海道が19.3%、全国は17.7%となった。また、「悪い」と回答した事業所は北海道が25.9%、全国が32.2%で、全国を6.3ポイント下回った。

### (2) 経営状況の直近5か年の推移

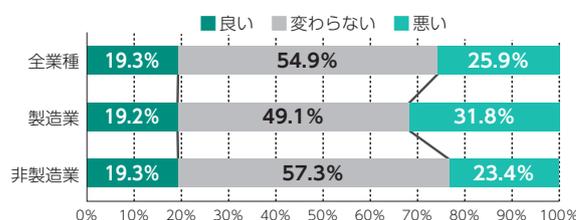
経営状況の直近5か年の推移は〈図4〉のとおり。

「良い」と回答した事業所は19.3%で、前年度と比較して0.7ポイント減少した。

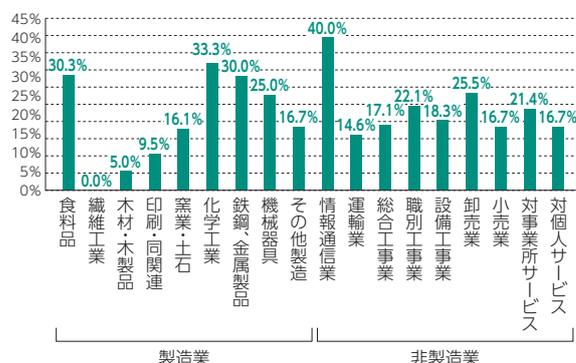
一方で「悪い」と回答した事業所は25.9%で、前年度より1.7ポイント増加した。

令和2年度から回復傾向にあった経営状況が、今年度はやや減退した。

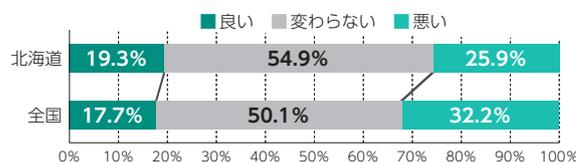
〈図1〉 経営状況



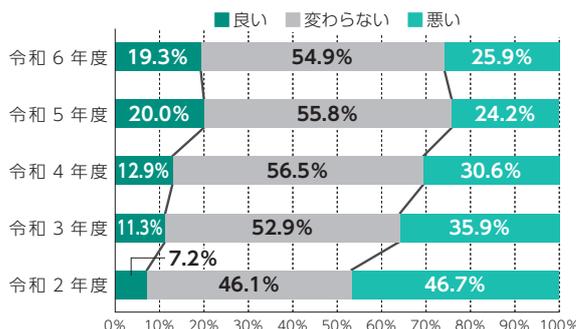
〈図2〉 経営状況(業種別で「良い」と回答した事業所)



〈図3〉 経営状況(全国比)



〈図4〉 経営状況の直近5か年の推移

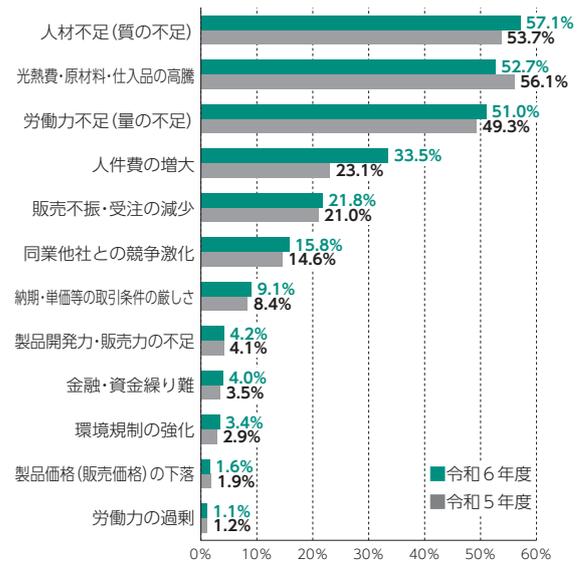


### (3) 経営上の障害

現在の、経営上の障害は〈図5〉のとおり。

「人材不足(質の不足)」が57.1%と最も多く、前年度より3.4ポイント増加した。次いで、「光熱費・原材料・仕入品の高騰」が52.7%で前年度より3.4ポイント減少、「労働力不足(量の不足)」が51.0%で前年度より1.7ポイントの増加となった。

〈図5〉 経営上の障害(複数回答)



## 2 従業員の労働時間(パートタイマーなど短時間労働者を除く)

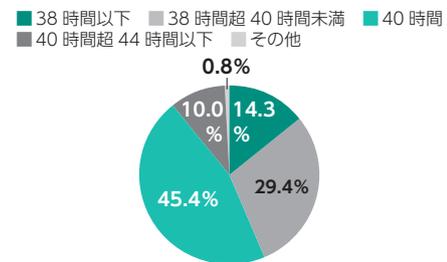
### (1) 従業員の週所定労働時間

従業員の週所定労働時間は〈図6〉のとおり。

「38時間以下」が14.3%、「38時間超40時間未満」が29.4%、「40時間」が45.4%となり、40時間以下は89.1%となった。

\* 10人未満の商業、映画・演劇業、保険衛生業、接客娯楽業は、「週44時間」措置対象事業所

〈図6〉 週所定労働時間

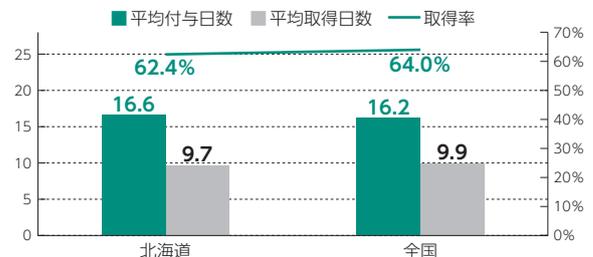


### (2) 令和5年度従業員1人当たりの年次有給休暇の平均付与日数・取得日数・取得率(全国比)

年次有給休暇の平均付与日数・取得日数・取得率を全国と比較すると〈図7〉のとおり。

平均付与日数は16.6日で0.4日上回った。一方、平均取得日数は9.7日で0.2日下回っている。取得率は62.4%で1.6ポイント下回った。

〈図7〉 年次有給休暇の平均付与日数・取得日数・取得率(全国比)



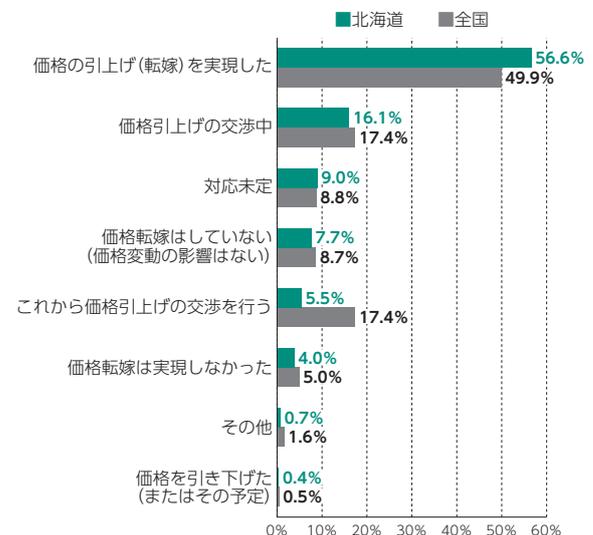
## 3 原材料費、人件費(賃金等)アップに対する価格転嫁の状況

### (1) 価格転嫁の状況

原材料費、人件費(賃金等)アップに対する価格転嫁の状況は〈図8〉のとおり。

「価格の引上げ(転嫁)を実現した」が56.6%、「価格引上げの交渉中」が16.1%、「対応未定」が9.0%となった。全国と比較すると、「価格の引き上げ(転嫁)を実現した」が6.7ポイント上回り、「これから価格引上げの交渉を行う」が11.9ポイント下回った。その他の項目は全国とほぼ同様の水準となった。

〈図8〉 原材料費、人件費(賃金等)アップに対する価格転嫁の状況

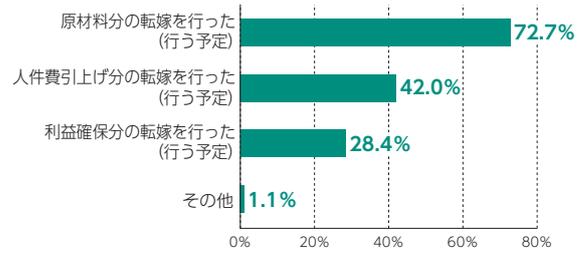


## (2) 原材料、人件費、利益を含めた販売価格への転嫁の内容

原材料、人件費、利益を含めた販売価格への転嫁の内容は〈図9〉のとおり。

「原材料分の転嫁を行った(行う予定)」が72.7%、「人件費引上げ分の転嫁を行った(行う予定)」が42.0%、「利益確保分の転嫁を行った(行う予定)」が28.4%となった。

〈図9〉 原材料、人件費、利益を含めた販売価格への転嫁の内容

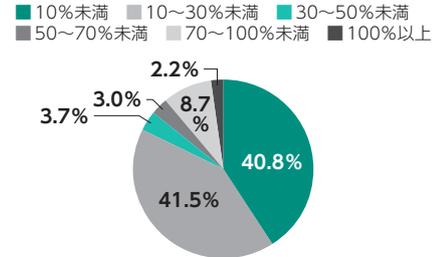


## (3) 一年前と比べた価格転嫁の状況

一年前と比べた価格転嫁の状況は〈図10〉のとおり。

「10%未満」が40.8%、「10~30%未満」が41.5%、「30~50%未満」が3.7%、「50~70%未満」が3.0%、「70~100%未満」が8.7%、100%以上は2.2%となった。

〈図10〉 一年前と比べた価格転嫁の状況



## 4 新規学卒者の採用について

### (1) 新規学卒者の採用状況 (平均採用数、採用割合)

1事業所当たりの新規学卒者の平均採用数(学歴別)は〈図11〉のとおり。

前年度と比べ、「高校卒」・「専門学校卒」は0.5人減少の0.8人、「短大・高専卒」は1.1人減少の0.3人、「大学卒」は0.1人減少の1.7人となった。

〈図11〉 1事業所当たりの新規学卒者の平均採用数(学歴別)

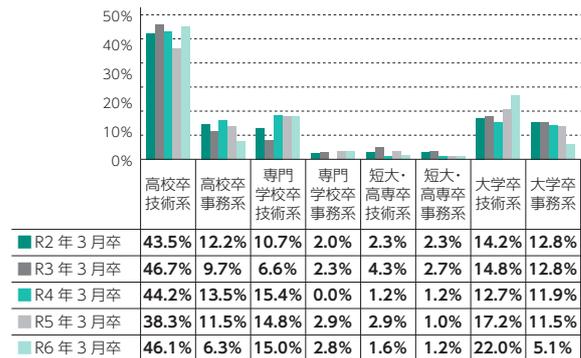


新規学卒者の学歴別状況は〈図12〉のとおり。

技術系は「高校卒」が46.1%と、前年度より7.8ポイント増加し、全体の5割近くを占めた。「大学卒」が22.0%で前年度より4.8ポイント増加。「専門学校卒」が15.0%で前年度より0.2ポイント増加し、「短大・高専卒」が1.6%で前年度より1.3ポイント減少した。

一方、事務系は、「大学卒」が5.1%で6.4ポイント減少し、「高校卒」が6.3%で5.2ポイント減少、「専門学校卒」が2.8%と0.1ポイント減少し、「短大・高専卒」も1.2%で0.2ポイントの増加にとどまった。

〈図12〉 新規学卒者の学歴別状況



次号(1月号)に要約版②を掲載予定です。

がんばる  
組合事例紹介



釧路和商協同組合  
理事長 相原成二郎 (組合員 23 名)  
北海道釧路市黒金町 13-25  
TEL : 0154-22-3226 FAX : 0154-22-5412

Case studies

釧路和商協同組合

## 「市場のパン屋」で課題解決に挑む

釧路和商協同組合は、昭和 29 年 12 月に設立、釧路管内の観光地・住民の台所としてもゆるぎない地位を誇る「釧路和商市場」を運営しており、今月で 70 周年を迎えます。

近年、釧路管内での人口減少やコロナ禍によるクルーズ船からの誘客減や顧客情勢の変化により、厳しい運営を行ってきました。

そのような状況下で、共同事業である店舗の維持管理の財源確保、販売促進事業の活性化を図るため、本会の課題解決型組合集中支援事業を活用し、

同市場内に「市場のパン屋さん」を 10 月 11 日(金)にオープンしました。

厨房設備は、リユース品を活用し、環境面にも配慮した造りとなっており、開店当日は市場での買い物と合わせて続々と完成する約 50 種類のパン(※焼き上がりの時間帯により並ぶ商品が異なります)を買い求める多くのお客様が見られました。

今後は、市場で取り扱う組合員の生鮮食品や加工品等を使用した総菜パンの販売構想もあり、組合事業の促進や釧路駅周辺の観光誘客確保に大きく寄与するものと期待されています。

そのほかにも、組合では市場の活性化に向け、釧路市内の学生との産学連携活動として「和商バズるアイデアコンテスト」を実施し、アイデアとして提案された、名物「勝手丼」の具材や各店舗の商品の引換券が当たる「和商オリジナルガチャ」を 10 月 7 日(月)~12 日(土)に開催。物珍らしさもあることから、こちらも多くの人で賑わいました。

また、オンラインショップでの積極的な商品販売や、和商の日に合わせたセール・SNS での積極的な情報発信等、70 周年を迎える現在も新たな挑戦が目白押しとなっています。是非、釧路地区管内を訪れた際は、「釧路和商市場」にお立ち寄りください。



## 知っ得！経理業務を効率化！ 人手不足の時代に役立つ 経理の自動化

公認会計士小島史資事務所  
所長  
税理士・公認会計士  
小島 史資 氏



皆さん、こんにちは。大きな話題となったインボイス制度や電子帳簿保存法の開始から約1年が経過し、制度への対応も落ち着いてきた頃かと思います。

その中で、適格請求書発行事業者の確認業務やクラウド保存への対応など、これまでに比べて経理業務の大幅な増加に苦しんでいる事業者もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。さらに、人手不足が昨今の課題となっている中で、経理業務の自動化が求められてきています。今回は経理業務の自動化、効率化への対応について解説していきます。

### 〈経理業務の自動化〉

経理業務の自動入力、ここ数年で急速に進化しています。初期の経理自動化ツールはシンプルなパソコンにインストールするタイプの会計ソフトやエクセルが主流でした。ところが近年、クラウド型会計ソフトの登場により、銀行口座やクレジットカードと連携して取引データを自動で取得し、仕訳や帳簿管理を行うようになりました。

さらに、AIと機械学習が自動入力に導入されることで、過去の取引データを基にした仕訳の自動提案や異常検知が可能になり、エラーリスクが大きく削減されました。また、OCR(光学文字認識)の精度向上により、紙の領収書や請求書もデジタル化され、自動的に入力できるようになった点も画期的です。RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を活用することで、請求書の処理や経費精算といった定型業務を自動化し、経理担当者の負担を軽減してきています。

### 〈業務効率化への対応方法〉

中小企業が経理業務を自動化するには、適切なツールの導入と社内対応が重要です。まずは、自社に合った会計ソフトの導入から始めましょう。さまざまな制度の変化により経理業務も大きく変化しています。これまで長年使っていたソフトが現況に合っていない可能性もありますので、改めて見直してみてもいいかもしれません。

現在の会計ソフトは銀行やクレジットカードと連携し、取引データを自動取得できるため、仕訳や帳

簿管理が効率化されます。導入時には設定やデータ移行を行い、現場に適したフローに調整することが大切です。

また、他システムを導入し、会計ソフトと連携するのも効果的です。会計ソフトと銀行、販売システム、給与計算システムを統合すると、システム間のデータ入力が自動化され、リアルタイムのデータ反映で財務状況の把握も容易になります。

経費精算システムでは領収書のデジタル化や承認プロセスの自動化により、ペーパーレス化が進み、電子帳簿保存法への対応も実現可能になっています。

会計ソフト自体の機能はもちろんのこと、他のシステムとの連携も考慮し、経理業務全体での最適化のためにシステムの見直しをしてみましょう。

### 〈電子インボイスからデジタルインボイスへ〉

コロナ禍において出社が制限されるなど、ここ数年は紙から電子化(電子インボイス)へと進んできましたが、今後はさらに一歩進んだデジタル化(デジタルインボイス)への時代となっていきます。

PDFなどの電子データで保存された「電子インボイス」は保存形式が企業ごとに異なり、人の手を介する業務がまだまだ多くありました。

例えば、PDFで作成された請求書をメールで受け取った場合、メールを開封して内容を確認、インターネットバンキングで振込の手続きをし、人の手で会計ソフトへ入力する、といった業務フローがあります。

一方、デジタルインボイスとはこの請求書の発行、受領の仕様を統一したものになります。対応するシステムを介して請求書を送受信すると、システム間で直接データや自動処理をすることができるため、人の介入が大幅に減り、業務の効率化、ミスの減少が期待されます。

これらの新しいシステムを活用するには、経営者や従業員のITリテラシーの向上が欠かせません。システム導入時のトレーニングを実施し、現場での理解を深めることで、不安を取り除き、効果的な活用に役立ててください。

北海道経済産業局からのお知らせです

## 「フリーランス・事業者間取引適正化等法」のお知らせ

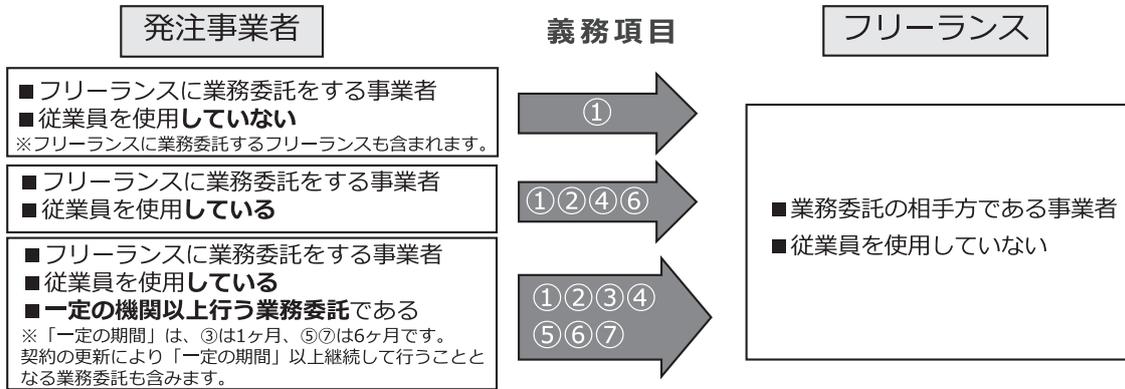
令和6年11月1日に「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」（フリーランス・事業者間取引適正化等法）が施行されました。この法律は、フリーランスの方が安心して働ける環境を整備するため、**フリーランスの方と企業などの発注事業者の間の取引の適正化とフリーランスの方の就業環境の整備**を図ることを目的としています。

### ○法律の適用対象

発注事業者からフリーランスへの「業務委託」（事業者間取引）

### ○法律の内容

発注事業者が満たす要件に応じてフリーランスに対しての義務の内容が異なります。



義務項目	具体的な内容
① 書面等による取引条件の明示	業務委託をした場合、書面等により、直ちに、次の取引条件を明示すること 「業務の内容」「報酬の額」「支払期日」「発注事業者・フリーランスの名称」「業務委託をした日」「給付を受領/役務提供を受ける日」「給付を受領/役務提供を受ける場所」「（検査を行う場合）検査完了日」「（現金以外の方法で支払う場合）報酬の支払方法に関する必要事項」
② 報酬支払期日の設定・期日内の支払	発注した物品等を受け取った日から数えて60日以内のできる限り早い日に報酬支払期日を設定し、期日内に報酬を支払うこと
③ 禁止行為	フリーランスに対し、1か月以上の業務委託をした場合、次の7つの行為をしてはならないこと ●受領拒否 ●報酬の減額 ●返品 ●買ったたき ●購入・利用強制 ●不当な経済上の利益の提供要請 ●不当な給付内容の変更・やり直し
④ 募集情報の的確表示	広告などにフリーランスの募集に関する情報を掲載する際に、 ・虚偽の表示や誤解を与える表示をしてはならないこと ・内容を正確かつ最新のものに保たなければならないこと
⑤ 育児介護等と業務の両立に対する配慮	6か月以上の業務委託について、フリーランスが育児や介護などと業務を両立できるよう、フリーランスの申出に応じて必要な配慮をしなければならないこと
⑥ ハラスメント対策に係る体制整備	フリーランスに対するハラスメント行為に関し、次の措置を講じること ①ハラスメントを行ってはならない旨の方針の明確化、方針の周知・啓発、②相談や苦情に応じ、適切に対応するために必要な体制の整備、③ハラスメントへの事後の迅速かつ適切な対応 など
⑦ 中途解除等の事前予告・理由開示	6か月以上の業務委託を中途解除したり、更新しないこととしたりする場合は、 ・原則として30日前までに予告しなければならないこと ・予告の日から解除日までにフリーランスから理由の開示の請求があった場合には理由の開示を行わなければならないこと

【北海道経済産業局 窓口】

産業部 取引適正化推進室 TEL : 011-709-2311 (内線2579)

E-mail : bz1-hokkaido-tenka@meti.go.jp



← 最新情報は  
こちら  
(中小企業庁HP)

# 10月の道内景況 情報連絡員レポート

様々な経費の高騰が経営を圧迫、人材不足で需要に対応できない面も。

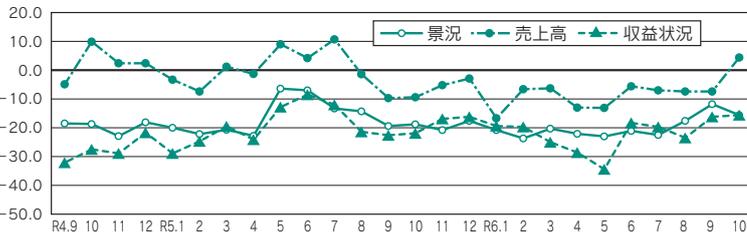
## 概況

前年同月との比較では、「売上高」は上昇したが、「景況」、「収益状況」は低下している。

9月から10月の推移では、「売上高」、「収益状況」は増加したものの、「景況」は減少した。

情報連絡員によると、製造業では、原材料・電力料金等の高止まりが依然として続いていることから、最低賃金の引き上げや若年層の人材不足など、今後の経営状況を不安視する声が多く寄せられている。非製造業では、道外からの観光客や外国人観光客は増加しているものの、地元客の客足は伸び悩んでいるとの声のほか、消費者の節約志向や人口減少による収益の伸び悩みへの影響についても声が多く寄せられた。また、技術職やドライバー不足から需要への対応ができていないといった報告もあった。

主要DIの推移



## 景況天気図(前年同月比)

	全業種			製造業			非製造業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
業界の景況	☁️ △11.8	☁️ △15.6	△3.8 ↘	☁️ △15.0	☁️ △23.3	△8.3 ↘	☁️ △10.4	☁️ △11.7	△1.3 ↘
売上高	☁️ △7.4	☁️ 4.4	11.8 ↗	☁️ △5.0	☁️ △6.7	△1.7 ↘	☁️ △8.3	☁️ 10.0	18.3 ↗
収益状況	☁️ △16.2	☁️ △15.6	0.6 ↘	☁️ △10.0	☁️ △13.0	△3.0 ↘	☁️ △18.8	☁️ △16.7	2.1 ↘

(凡例) 30以上 ☀️ 10~29 ☁️ 9~10 ☁️ 11~29 ☁️ 30以下 ☁️

	全業種			製造業			非製造業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
販売価格	☀️ 30.9	☀️ 32.2	1.3 ↗	☁️ 15.0	☁️ 16.7	1.7 ↗	☀️ 37.5	☀️ 40.0	2.5 ↗
取引条件	☁️ △7.4	☁️ △6.7	0.7 ↘	☁️ 0.0	☁️ 3.3	3.3 ↗	☁️ △10.4	☁️ △11.7	△1.3 ↘
資金繰り	☁️ 2.9	☁️ △2.2	△5.1 ↘	☁️ 5.0	☁️ △6.7	△1.7 ↘	☁️ 2.1	☁️ 0.0	△2.1 ↘
雇用人員	☁️ △10.3	☁️ △18.9	△8.6 ↗	☁️ 0.0	☁️ △16.7	△16.7 ↗	☁️ △14.6	☁️ △20.0	△5.4 ↗

**天気図の見方** 各景況項目について調査月と前年同月を比較して、「増加」(または「好転」)したという回答(構成比)から「減少」(または「悪化」)という回答(構成比)を差し引いた値(DI)をもとに作成。天気表示は凡例のとおりです。

## 製造業

### 食料品

- コロナ影響下の昨年に比べ順調に回復している。
  - ・ 原料、水道光熱費の高騰への早急な対応が必要。(小樽)
- 今年の秋鮭漁は10/28現在で北海道全体で前年比79%と減少。今年の景況は小さめ魚卵も小さいことからいくらか等の加工品も歩留り悪く、浜値の上昇とともに加工製品も大きく値上がりとなった。
  - ・ オホーツク海の鮭もほかの地域での漁獲量減少により、他からの買入れが強く、高値となっていることから、地元業者は必要以上に買わない姿勢となっており、当組合飼料原料となる鮭の加工残量は大きく落ちている。(網走)
- 種類の価格改定は、春先に行われたところが多かったが原材料や輸送料、人件費等の高騰により利益率が低く業界の景況は悪化している。働き方改革、最低賃金のアップでさらなる値上げをせざるを得ない状況になっている。(全道)
- 味噌出荷量(道内)：単月(令和6年9月) 前年対比 103.1%  
累計(令和6年1月~9月) 前年対比 94.7%  
醤油出荷量(道内)：単月(令和6年9月) 前年対比 107.0%  
累計(令和6年1月~9月) 前年対比 95.8%  
味噌出荷量(全国)：累計(令和6年1月~8月) 前年対比 97.2%  
醤油出荷量(全国)：累計(令和6年1月~8月) 前年対比 100.0%
  - ・ 令和6年9月の道内単月の出荷量は、前年対比、味噌・醤油ともに良かった。
  - ・ 令和6年1月~9月の道内累計出荷量は味噌・醤油共に悪く、状況は好転せず。
  - ・ 醤油製造企業では、漁獲量の減少による水産関連の「業務用しょうゆ」の荷動きを、また、味噌製造企業では、原料の一つである米の価格が、今後も高止まりするのではとの心配する声を聞いている。(全道)
- カツオ、ブリ、フグなど本州以南の魚が獲れるようになり、新商品の開発など事業の転換点を迎えている。それに伴い、函館市が主導となって設備投資も進んでいる。
  - ・ 特にイカが不漁で、さきいかなどは消費者の層も限られるため珍珠のみを作っている会社は厳しい状況。
  - ・ 函館市内は観光客で賑わっているが、どの業種も人手不足であり、技能実習生にも来てもらっているものの、若年層が地元から流出している。(函館)

### 木材・木製品

- 9期のトドマツ原木の工場への入荷は、前月期同様落ち着いている。市況については、在庫が不足している状況はなく、弱保合で推移している。また、国有林材のトドマツ一般材については、オホーツク、道央圏、道北では複数の応札があり、活発な動きが出てきている一方で、道南圏については、不活発な動きが見えない。特に道南スギ、カラマツについては、全く動きがなく、供給過多となっている。原料材については、FITの影響から安定かつ高値安定で推移していたが、この4月以降価格が下落している。10期のカラマツ原木については、供給過多となっており、合板業界が、かなり苦しんでおり、しばらくはこのような業況が続くものと思われる。
  - ・ トドマツ製材市況は、先月に引き続き景気後退等の影響により、新規住宅需要が前月に比べ減少しており、回復することは不可能に近い。産業資材も減少傾向で推移している。価格は弱気配~保合の状況にあり、カラマツラミナについても、減少傾向で推移している。また、市況はカラマツ、エゾ・トドマツは弱含みが見込まれる。なお、本州のスギが市況に入り込み、道内の市況を圧迫しつつあり、業界内では脅威に感じている。紙原料は、不足気味で原料材価格が上昇していたが、全体的に下降気味である。木質バイオマス原料については、順調に集荷されており、価格も高止まりの傾向から、下がり気味で推移している。
  - ・ 道内製材業界は、主力製品である梱包材・パレット材のオーダーが大変厳しい状況下にあることから、一昨年から上昇した電力料金や各種諸資材、航送

- 料金の値上げなどを、製材品価格に反映させることなく、自助努力により吸収してきたところであるが、そのような中、「2024年問題」(トラックドライバーの労働時間規制)によりトラックの手配に各工場が苦慮している。(全道)
- 受注量の減少は底を打った感がみられる。急激に元に戻るとも思えないが、徐々に物の動きに回復の気配を感じる。(十勝)

### 窯業・土石製品

- 10月の生コン出荷量はおよそ337千m<sup>3</sup>。(前年同月比101.0%)
  - ・ 地域別には、前年同月を上回った分会は27分会中、12分会で前年(増加は8分会)を上回った。前年同月と比較して増加したのは道南、小樽、岩宇など。一方、減少したのは千歳、西十勝、苫小牧などであった。(全道)
  - ・ コンクリート舗装の普及拡大が必要。
- 十勝地域では、公共事業の減少や民間需要の冷え込みから、砂利の売上や利益が減少しており、砂・砂利の在庫は増加している。
  - ・ 道東や道北地域などでは、道央地域に比べ需要の落ち込みが大きく、業界の景況も悪化している。
  - ・ 本道の社会基盤整備の充実に向けた天塩港の整備拡充(北海道開発局や道議会に要望中)。(全道)

### 一般機器

- 組合員の一部は年末まで仕事が輻輳しているが、全体的には停滞気味。
  - ・ 中小企業向けの安定的な行政サイドの発注、減税や補助金の拡大実施、中所得者層への物価高騰対策や所得税控除・扶養控除(特に子育て世帯向け)の拡大実施、電気料金・ガソリン灯油代の補助額と期間の拡大、消費税等の減税実施等が必要。(札幌)
- 小樽市内はインパウンドも含め、人流が特に休日には増えている。数年来の農作物が良かったにもかかわらず、運送用資材等の動きは良くない。資材(テント)は従来の石油価格に加え、防炎材がロシアや中国に依存しているということでも10月1日より一斉に値上がり。
  - ・ 石油価格の安定や政治の安定が必要と思われる。(全道)
- コストアップの価格転嫁は、材料費などの直接費の転嫁は概ね順調だが、電気料、物流費などの間接費の転嫁は浸透しにくいのが現状。(旭川)

### その他

- 景況感は良くはないがそれなりに推移している。製品価格の値上げについては、一部のコーザーは決定してきているが、大手や農産物についてはこれから難航している。
- 昨給1,500円よりも、優先すべきことや廃止すべきことがたくさんあると思う。(全道)
- 造船業界の業況は、新造船の受注が順調で、室蘭製作所も函館造船所向け造船ブロック制作で非常に忙しい状態が続いている。国内造船所各社の手持ち工事量も3年程度確保されて先が明るい見通しだが依然として人手不足が深刻な状況で工程にも影響が出ている。(室蘭)

## 非製造業

### 卸売業

- 販売価格の上昇に伴いユーザーの選別が厳しくなっており、利幅の少ない中で価格競争が収益の悪化を招いている。
  - ・ 消費のカジュアル化によりビジネスノーマル製品の靴・鞆等は苦戦を強いられている。
  - ・ 採用難で人員の確保が難しく離職も多いことから雇用人員は減少傾向。
  - ・ 組合施設の貸会議室、展示室の需要は引き続き旺盛で過去最高の稼働率となっている。(札幌)
- 令和6年衆議院選挙が終わり、政権与党の前議員が落選し、野党議員のみと

- なった。地元経済界などの落胆は想像以上であり、今後の経済的な損失は計り知れない。(帯広)
- 令和6年10月期の当組合買付高は伸卸、荷受1,492,326千円(税抜)で、先月の9月期末実績1,477,105千円(税抜)より15,221千円ほど増加した。10月は予想以上に生鮮価格高騰が進み、物量より、取扱金額が上昇したようだ。今後、年末需要期に向けて価格の推移を見守りたい。(道央)
- 当月の菓子卸は、価格高騰により、売上は伸長しているが、節約志向が強く、販売数量は伸長していない。ただ、お土産品を取り扱う企業は伸長している。(全道)
- 前月同様に、銅単価は高止まり傾向であり、設備資材全般に高騰が続いている。(全道)

## 小売業

- 前年比較 物販94.1%、金融95.5%
  - ・観光シーズンも終盤となり、観光客が減少し中心市街地の人通りは少なくなった。例年の10月と比較して気温が高く、秋物・冬物の需要が停滞している。業種別の前年比では旅行関連194%・病院109%・高速道路107%と好調な一方、家電77%・家具81%・衣料品85%の減少により、全体では前年割れとなった。(旭川)
- 10月27日、『2024フードパレードとかちマラソン』が帯広市内で行われた。ハーフ3,390人を含む計5,463人が道内外からエントリーし、沿道からの声援や拍手が送られる中、市街地を駆け抜けた。この大会は十勝の食も大きな魅力の一つで十勝グルメを満喫できる『食フェスタ』も行われ、今回はキッチンカーも含め約25店舗が並んで、参加者は走破後秋の味覚を楽しんでいた。昨年より飲食も解禁となり、十勝の食を堪能できる大会なので、来年も道内外からの参加を期待し、十勝の魅力を発信できる大会になってほしい。(帯広)
- 従業員が不足しており、事業主にかかる負担が大きい中、最低賃金が上がったことで、扶養の範囲内で働いている従業員の労働時間が減り、さらに事業主の負担が増加した。年内で廃業を決めている事業所や、キャッシュレス決済割合が急激に増加傾向にある中、カードホルダーの減少が進むなど、当会の加盟店は減少はあっても増加するところが多い中、今後の方向性をしっかりと定める必要性があると思っている。(日高)
- 10月は、9月以上に中国人観光客が増加していた。中国人は買い物は安く、食堂での食事と、魚屋で生ガニを茹でてもらい市場内で食べていく。毎日40~50人位の来場があるので、場内が賑わっているように見えるが、地元客が少なく各店の売上につながっていない。(小樽)
- 10月取扱高は、前年同月比92%の状況。天候に恵まれ行楽地は観光客が増え、商店街にも賑わい良くなっていると感じるが、食品価格の値上げによる顧客の売上低迷の影響は大きいと感じる。(苫小牧)
- 人口減少や節約のため、販売数量、金額ともに落ちている。エネルギー業界は厳しい経営状況にある。(稚内)
- 10月についてはどの業種も前年を割る取扱であった。10月は食品の値上がりやコメ価格の高騰で、生活費以外の消費を極力抑えたのではないかと見ている組合員が多数だった。また、衆院選と同時に道議補欠選、釧路市長選も重なり慌ただしい月となり市長には若手の新人が当選、これまでの市政とは全く違った地域経済の活性化に期待する。
  - ・10月の状況について、旅行業は、今夏より発売の川湯温泉とのタイアップ商品が年末に向け順調な動きを受け現在阿寒湖温泉とのタイアップ商品も企画中。携帯電話販売業については、新型スマートフォンの発売により取扱販売は好調ながら他社からの切り替え販売には苦戦している。保険業は、折込チラシの実施で来店客数は微増、現在は法人契約獲得増に向け積極的に訪問営業を行っている。(釧路)

- 人材不足による雇用平均年齢の上昇、働き方改革等、営業時間にも影響が出ている。
  - ・小売価格上昇による不良債権化と代金回収に気をつけている。
  - ・地域格差により、地方の石油インフラから影響が出やすいので、緩和措置が必要。

- 今年も自転車の価格が上昇しているため売上げが落ち込んでいる。特に、地方では年間1台も売れなかったという店もあり、修理などで何とか商売が続いているという状況。(全道)
- 今月の「函館朝市」は、10月19・20日(土・日)の日程で、全国各地の朝市関係者が一堂に会し、朝市文化の交流と発展を図る地域振興イベント「第25回全国朝市サミット2024」に参加した。今年の開催地は青森県八戸市の「館鼻岸壁朝市」で、コロナ明け後5年ぶりの開催ということで、近況報告や各地での課題、そして、朝市サミットの更なる発展や朝市ブランドの向上について活発な議論を交わすことができた。特に能登半島沖での地震や大雨で現在も大変な状況が続く、輪島朝市の皆さんにもお越しいただき、改めて応援と親睦を深める事ができた。我々全国朝市サミット協議会では、今後このネットワークを活かしながら、各地の朝市での取り組みなども情報共有し、互いに知恵を出し合い支え合って「朝市」の元氣とパワーでこの苦境を乗り越えていこうと強く固結した。(函館)
- 10月はあまりイベントもなく、観光客も少なく売上は伸びなかった。秋鮭も入荷が少なく、特に生筋子は前年の倍近くの価格で、この期に漬けるお客様が少なく、単価のいい筋子の減で売上が伸びなかった。さんまも入荷はあるもののあまり脂がたく、大きいサイズは価格も高く推移した。(道央)
- 売上高2,780万、前年比111%。値上げに伴い客単価の増加で推移している。(札幌)
- 10月は、連休もあり観光客で賑わいをみせた。10月11日に組合事業として、焼きたてパンのお店がオープンし、行列ができるほど来店客があり、今後も色々な企画をし、集客につなげたいと思う。11月と12月に1店ずつオープン予定なので、期待したい。(釧路)
- エアコン需要で売上がアップしてきたが、10月に入りエアコンも止まり、AV商品、特に50型以上のテレビの売上が昨年より少し伸びたが、白物家電が減少し、前年との売上比較はほぼ横並びの状態。(全道)
- 小売の状況としては成約率が高めであり、小売価格も過去最高値をマークしている。新車の供給はまだ完全に戻っておらず、依然として中古車への需要は高止まりしている。また輸出もここ2か月ほどで値下がりしており、その分国内の需要を満たせるもの、いちはしには需要が重なるため、結果として仕入価格も上昇している。また、メーカーモーター車向はすぐに納車するも、国内販売に対しては納車を遅らせる傾向にある情報もあったり、納車ルールに関しては不透明な部分もある。新車に関しても国内よりも海外に出すなど、国内の自動車状況は厳しいままである。
  - ・原発の再稼働を含めた、エネルギーコストの削減対策が必要ではないかと考える。
- 一戸あたりの労働力不足で、この年の収穫は何かでできたが春作業の労働分散・省力化・高性能農業機械の導入等を考えていかなければならない。(全道)

## 商店街

- 網走市の発表の9月観光客の入り込み数は、市内ホテルの合計が国内客2万8000人で前年同月比で11.7%増、外国人は3500人、同6.9%増で全体で同11.2%増と好調であった。(網走)
- 10月共通駐車券の利用は、前年同月比151.3%、買物共通バス券は、前年同月

- 比171.4%。共通駐車券は、利用増の傾向が続く。(帯広)
- 都心部を中心にインバウンドなどの観光需要が続いている商店街もあるが、市内商店街全体としては、様々な課題がスパイラル状につながっており、なかなかその出口が見えてこない。[物価高(エネルギー価格、資材、輸送費等)→人件費高→人が集まらない→人手不足→若い人がいない、育たない→事業承継が進まない→商店街の高齢化→デジタル化が進まない→SNS等の活用が遅れている→販促が進まない→売上げが伸びない]というスパイラルである。(札幌)

## サービス業

- タイヤ交換等の季節的な業務量増加により売上は増加傾向。
  - ・人員不足も横ばいのため各社工夫しながら業務量をこなしている。(札幌)
- 今夏における受注業務額は、前年度に比べて全国レベルで10%程度減少しているが、4月以降の累計総受注額は、20%程度増加している。しかしながら、資材・消耗品・燃料費・人件費が大幅に増加しているため、収益が大きく好転するまでには至っていない。また、関連業界も含めて業界全体の収益改善が進むためには、もう少し時間がかかると思われる。業務の発注金額は、市場単価をベースに2010年代半ばから人件費、2020年代当初から現場調査費等が改善されているが、室内試験費等一部分野の単価改善が明らかに遅れており、業界を挙げて今後活発な活動が期待されることである。(全道)
- 10月1日から大人料金が10円値上げになったが、光熱費・消耗品等営業に係る経費が依然として大きく、営業収入にはなかなかつながらない様子。(全道)
- 千歳市で建設中の半導体製造工場や併せて進出する約30社の関連企業が拍車をかけて、半導体人材の争奪戦が激しさを増している。即戦力だけでなく道内の大学、高専、工業高校の新卒採用にも積極的だ。将来的に見てもさらに人材不足に陥ることは明らかで、産学官が人材育成への取組を加速強化しているが、一長一短で人材確保が難しいのが現実。そのため、必要な即戦力人材は高賃金を謳い文句にして道内中小IT企業から転職採用するケースが増えている。IT企業側は離職直前まで状況把握が難しく防止に頭を悩ませている。システム開発案件は、企業の業務効率改善や生産性向上のためのデジタル化の進展で首都圏大手システム会社から受注打診が続いているが、人材不足で思ったように案件受注ができず、選別受注をせざるを得ない状況が発生している。道内中小IT企業は人材不足の解消、離職防止、高度技術人材育成という経営課題を抱えながら収益確保の難しい企業経営が続く。(全道)
- 道内客減少、道外・海外客増加により全体で前年106.5%入込増。(十勝)

## 建設業

- 原材料費の増加は落ち着いた兆しも伺われるが、今後の推移には注視する必要がある。また、人件費の増加は続いており、収益への影響が生じているほか、雇用不足による事業への影響も出ており、新たな事業獲得が難しい状況にある。
  - ・4月からの働き方改革の対応に苦慮している。
  - ・技能実習制度から育成就労制度へ変わる情報の提供が必要。(札幌)
- 官庁工事については、第一四半期(4~6月)は入札不調が原因で順調に発注されたが、第二四半期(7~9月)以降、電気工事はそうでもないが、設備工事で人材不足(技術者と技能者の両方とも)による不調が、目立ち始めた。9~10月に道庁や開発局と業界団体との意見交換会があり、官庁側として、労務費は無理だが共通仮設費等を大幅に改善、週休2日工事を大幅導入、総合評価入札方式も参加しやすさ要件緩和している等の説明があった。業界側からは、条件がいくらか改善されても、技術者が居ない以上は近年実績のない官庁工事は参加が難しい旨を説明している。
  - ・民間工事では、建築費高騰の影響により、住宅やマンション等の工事発注が停滞、携帯電話設備の工事もモバイル各社の方針で設備投資が止まり、発注の多い分野と少ない分野の「二極化」がさらに進んでいる。携帯電話設備工事を主とする会社の廃業も起こった。一方で半導体製造工場の工事が佳境に入っているが、周辺地区において、製造業の工場、倉庫等物流施設、住宅、ホテル、店舗関係の工事の発注は旺盛である。
  - ・資材費、人件費高騰に伴う「価格転嫁」について、官庁工事については、共通仮設費等の大幅改善を進めてくれており、民間工事でも、やはり昨今のサブコン業者の減少もあって、価格に関する要望はある程度考慮してくれつつあり、僅かではあるが収益状況は改善しつつある気配。ただしこれは工事発注の多い分野において。
  - ・「働き方改革」について、官庁工事は「週休2日型」が今年から本格導入されているのと、民間現場については、ゼネコによっては「隔週土曜日閉所」等の改善は徐々に見られつつある。個別の工事において、工期を十分取っている工事は大丈夫だと思いが、きつ工期の現場は、やはり従来どおりの土曜日稼働が増えてくるのが予想される。11月以降の繁忙期について、従来どおりの「長時間労働をせねば工事が終わらない」という状況は変わらないのでは？と懸念される。
  - ・道内の電気工事においては、「照明器具のLED化」と「学校等公共施設へのエアコン設置」を2027年までに終わらせねばならず、また、防衛予算も政府方針で倍増し、これも施設整備を今後数年のうちに行う予定で(かつ北海道は自衛隊施設が多い)、逆に2027年以降、特に2030年代には発注量が大幅に減っていくことも懸念されるので、各官庁は、長期的視野に立って、発注量の増減が少ない「安定的な工事発注」が必要。
  - ・また、「働き方改革」について、発注量が多い中で技術者が減っている以上、簡単には長時間労働を短縮できるような状況にはないので、「残業時間の上限規制」の法律の運用において、「柔軟な運用」も必要となる。(全道)
- 組合員が受注した公共工事は、秋の少雨により順調に推移し、ほぼ完了の見通し。また、除雪業務に携わる業者は準備に忙しいようである。
  - ・組合員においては、慢性化する人材不足による修繕工事の対応に苦慮している。市が発注する公共工事においては、令和7年度予算要求の時期を迎えているが、人口減少・自衛隊への給水が遅れるなど、事業収入が伸びず、事業予算の確保が厳しいことから公共工事の発注に影響が出そうである。上下水道料金の値上げの検討に入っており、経営審議会の審議状況を見守る状況もある。
  - ・コロナの罹患率は高く推移しており、加えてインフルエンザの時期も重なり厳しい状況が続いている。(名寄)

## 運輸業

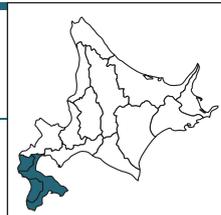
- 農水産物の収穫量が平年並み程度だったため、荷動きが活発になった。運賃上昇分売上が増加している。
  - ・10t車の長距離本州輸送は、時間管理面とドライバー不足により道内輸送へ移行している会社がある。
  - ・とにかくドライバー不足と時間管理のため自車及び雇車が足りずに需要に対応できていない。(全道)
- 今年度は農産物の出来が昨年より良く、貨物の動きも順調に推移している。
  - ・一般カーゴについても半導体製造工場関連の貨物が増加しており、ユニック車が不足気味になっている。域内輸送も前年度より荷動きが良くなった。(石狩)
- 売上高は、前年同月比(9月) 5.28%減少
  - ・乗務員数は、前年同月比(10月) 2.7%減少
  - ・9月分チケット取扱高は、前年同月比 8.76%減少 (旭川)

# 支部だより



## 道南支部(函館市)

所管／渡島総合振興局・檜山振興局管内  
駐在職員／津川事務所長・齋藤主事



### 函館事務長会と札中事務長会、 合同交流懇談会を開催!!

10月18日(金)と19日(土)に札幌地方中小企業団体事務長会(札中事務長会)の皆様が8月の室蘭事務長会に続き、視察研修で函館市に来られました。

この機会に合わせて18日(金)夜、札幌・函館の両事務長会による合同交流懇談会を開催しました。

総勢20名を超える参加者となり、交流懇談会では、活発に情報交換がなされ、互いに普段聞くことのできない業界・地域の話で大いに盛り上がりました。

盛り上がりの熱は、1次会で冷め切らず、引き続き行われた2次会も大盛況のうちに終了しました。

札中事務長会の皆様は、翌朝、まったく疲れた様子を見せずに、函館朝市を視察され、函館事務長会の会長である松田事務局長(函館朝市協同組合連合会)より、函館朝市の概要や取組について説明がな

されました。

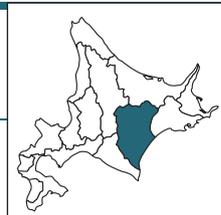
札中事務長会の皆様から

は、大変楽しい視察研修だったとご好評いただきました。この交流懇談会を機に今後も連携を深めていき、両団体のさらなる発展を遂げられるよう事務局も努めて参ります。



## 十勝支部(帯広市)

所管／十勝総合振興局管内  
駐在職員／中條事務所長・川上主事



### 十勝川温泉琥珀ナイトアンドマルシェが開催中です!

道の駅ガーデンスパ十勝川温泉にて11月1日(金)から12月25日(水)の午後7時30分から9時30分まで、十勝川温泉旅館協同組合(作田英実理事長・組合員数6名)主催による、“十勝川温泉琥珀ナイトアンドマルシェ”が開催されています。



十勝川温泉は、琥珀色のアルカリ性の泉質で、植物性の有機物を主体としており、世界でも珍しいモール温泉として人気の観光地となっています。

今回のイベントで

は、モール温泉の「琥珀色」をテーマとし、十勝の自然、農業、動物をモチーフに組み入れ

た高さ約4メートルのシンボルツリーがライトアップされて施設内のからまつコリドーに登場し、来場者を温かく迎えています。入場料は、大人1,000円(中学生以上)で、本日の十勝のお酒又はソフトドリンク一杯とおつまみのセットを味わうことができます。

また、地元クリエイターによるワークショップや作品の販売のほか、十勝の食やお酒の出店ブースもお楽しみいただけます。

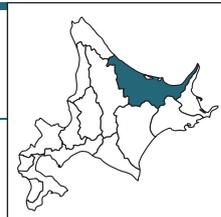
是非、この機会に幻想的な光に包まれた空間や地域の魅力を活かしたイベントを体験しに、ご家族やご友人と「道の駅ガーデンスパ十勝川温泉」にお越しください!

【十勝川温泉琥珀ナイトアンドマルシェ】  
<https://www.tokachigawa.jp/kohaku.php>



## 網走支部(網走市)

所管/オホーツク総合振興局管内  
駐在職員/尾崎事務所長・靄田主事



### 北見鉄工協同組合「第47回鉄工祭」が 開催されました!!

令和6年11月8日(金)、北見鉄工協同組合(林正道理事長、組合員16名)が主催する第47回鉄工祭が北見市で開催されました。

鉄工祭のルーツは、全国各地で行われる「ふいご祭り」にあります。ふいご祭りは、鉄工の仕事には欠かせない“火”への感謝を捧げるとともに、従業員の労をねぎらうための祭事で、古くから全国各地で実施されてきました。

当組合の鉄工祭は、北見市内の事業所ごとに行っ



ていたふいご祭りを組合が集約して、昭和53年に第1回目を実施したことから

始まりました。

今回は、永年勤続者表彰、来賓祝辞が行われた後、祝宴ではビンゴゲームを通じて参加者同士の親睦が深められました。

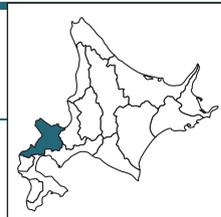


林理事長は、鉄工祭について、「本日、47回目を迎えた鉄工祭を開催できることを大変うれしく思います。鉄工祭は、鉄工業界に携わる皆様の技術への情熱と日々の努力に感謝する大切な行事です。組合員と関係者の皆様のご支援に深く感謝申し上げます」と話されました。

組合員及び関係者の結束が一層強まるとともに、1年の労をねぎらう貴重な機会となりました。

## 後志支部(小樽市)

所管/後志総合振興局管内  
担当/連携支援部 長谷川主査



### 絵画で見る炭鉄港：

#### 三人の画家が描く産業革命の物語

特別展Ⅲ「絵画で見る炭鉄港 三人展」が、10月19日(土)から市立小樽美術館で開催されています。本展は、伊藤光悦、輪島進一、羽山雅愉の三人の画家が、北海道の産業革命を支えた「炭鉄港」の歴史と風景を描いた作品を展示しています。

夕張出身の伊藤氏は、衰退していく炭鉱の街の寂しさを描いた作品14点を展示。炭鉱の閉山や廃墟となった風景を、過去の繁栄と衰退が交錯する情景として表現しています。輪島氏は、室蘭に住んだ経験から、日本製鉄の工場やその周辺の企業城下町をテーマに13点を展示。巨大な機械と人々の共存を描き、工業都市室蘭の独特な魅力を感じさせます。羽山氏は、「黄昏」シリーズとして小樽港の幻想的な風景を描いた10点を展示。澄んだ空と夕暮れ時に輝く小樽港の美しさを詩的に表現。最新作「冬の

雨・春の夢」も注目されています。

さらに、PHOTPOETによる映像作品「小樽聖」が初公開され、小樽の魅力を写真と詩で表現しています。日常の小樽の風景を捉えた89点の写真を14分11秒の映像にまとめ、日本語・英語・繁体字の詩とバッハの「無伴奏チェロ組曲」をBGMに投影しています。

三人のアーティストの視点から北海道の産業遺産を再発見し、その価値を見直す貴重な機会です。是非、この機会に足を運び、炭鉄港の歴史とアートの魅力を感じてみてはいかがでしょうか。



## 中小企業大学校旭川校おすすめ研修のご案内

各市町村・金融機関・商工会議所・商工会等で助成制度があります。  
概要は、旭川校のホームページをご覧ください。(右のQRコードからもご覧頂けます)



No.  
208

### 経営力強化講座

浜頓別開催

自社の現在地を知りビジョンへ向かう！  
経営計画の作り方

12月11日(水)～13日(金)

受講料：32,000円(税込)

対象レベル：経営者・後継者・経営幹部



自社の現状を把握し、経営計画を策定するための考え方と実践方法について学んだ上で、経営力の強化を図るとともに自社の目標設定を行います。

No.  
37

### リーダーシップ強化講座

部下のやる気と能力を引き出す  
リーダーシップ

2025年1月15日(水)～17日(金)

受講料：32,000円(税込)

対象レベル：管理者・新任管理者・その候補者



管理者に求められるリーダーシップの知識・スキルを理解し、効果的に発揮する方法について、演習を交えて学びます。

No.  
38

### トラック運送業の業務改善講座

2024年問題を越えて  
自社の未来を描くためのステップを学ぼう

2025年1月20日(月)～21日(火)

受講料：22,000円(税込)

対象レベル：トラック運送業の方  
(経営幹部・管理者・配車責任者など)



トラック運送業界の現状と今後の動向を理解し、自社の経営資源や経営課題の棚卸を行い、10年後のありたい姿を考察しながら戦略策定の方法を学びます。

No.  
39

### 決算書の読み方講座(財務初級編)

事例を通して楽しく学ぶ！  
よく分かる財務の基本

札幌開催

2025年1月21日(火)～23日(木)

受講料：32,000円(税込)

対象レベル：管理者・新任管理者・その候補者



決算書の仕組みや用語の意味、数字の流れなどを理解した上で、経営体質や課題を読み取るポイントについて、モデル決算書を交えて具体的に学びます。

No.  
209

### 中小企業のための若手リーダー研修

周囲を巻き込み、成果を上げる！  
リーダー養成講座

別海町開催

2025年1月28日(火)～30日(木)

受講料：32,000円(税込)

対象レベル：新任管理者・その候補者



若手社員がリーダーとしての自覚を持ち、周囲のメンバーに積極的に働きかけ、チームとして目標達成を推進していくために必要なスキルを学びます。

No.  
49

### 経営トップセミナーⅡ

人口減少時代の地域活性化戦略

札幌開催

2025年1月29日(水)

受講料：16,000円(税込)

対象レベル：経営者・経営幹部

※宿泊業や飲食業などのサービス業の方



これからの未来を見据えて生き残るために必要なヒントや顧客ニーズへの様々な対応策など、事例を通じてマーケティングや経営戦略の考え方を学びます。

講座内容詳細は

初めてのの方は

資料請求や講座内容についてお気軽にお問い合わせください。

電話 0166-65-1200 / FAX 0166-65-2190

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部

住所 旭川市緑が丘東3条2丁目2-1

中小企業大学校 旭川校



# 安心の材料をご提供します。

## 小規模企業共済制度

●制度の特長

### 1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

### 2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

### 3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

＼他にもこんな特徴があります。／

- ・月々の掛金は1,000円から
- ・契約者貸し付けの利用が可能
- ・共済金の受給権は差押禁止

退職金の準備を  
中小機構が  
お手伝いします



## 経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

### 1 掛金の10倍の範囲内で最高8,000万円まで貸付け

「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額（最高8,000万円）」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年～7年（据置期間6か月を含む）で毎月均等償還です。

### 2 貸付条件は無担保・無保証人

共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けると貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。

### 3 掛金は税法上損金（法人）または必要経費（個人事業）に

掛金月額は、5千円～20万円の範囲内（5千円単位）で自由に選べます。

取引先の倒産から  
会社を守る制度です！



共済相談室 TEL. 050-5541-7171 【受付時間】平日 9:00～17:00

令和5年9月から  
オンライン  
手続き  
スタート

制度の詳細な内容は2次元コード又はホームページからご確認ください。  
ご要望の多い一部の手続きについてオンライン手続きが出来ます。





## 商工中金の 中小企業組合支援

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

札幌支店	〒060-0002 札幌市中央区北二条西 3-1-20	TEL : 011-241-7231
函館支店	〒040-0001 函館市五稜郭町 33-1	TEL : 0138-35-5022
帯広支店	〒080-0013 帯広市西三条南 9-23	TEL : 0155-23-3185
旭川支店	〒070-0035 旭川市五条通 9-1703-81	TEL : 0166-26-2181
釧路営業所	〒085-0847 釧路市大町 1-1-1	TEL : 0154-42-0671

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索



人を思う。未来を思う。

商工中金

## 北海道中小企業団体中央会

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 3階

TEL 011-231-1919 FAX 011-271-1109

ホームページアドレス <https://www.h-chuokai.or.jp>

発行日 / 2024年12月1日(毎月1日発行)

\*この機関誌は、誰もが読みやすいユニバーサルデザインフォントと環境にやさしい植物油インキを使用しています。

